



水産物等の
魅力創出

いとう まさひろ
伊藤 昌広 さん

出身：東京都板橋区
活動拠点：厚岸漁業協同組合直売店

東京にいた頃よりも、人との関わりを強く感じている。厚岸の海産物を生かした新商品の開発や、SNSを使って商品やイベント等のPRを行っている。今後は、どのような商品が売れているのか調査しながら、新商品を開発していきたい。また、漁業者らの後継者不足の解消、観光客や定住者の増加などに貢献できるよう、皆さんと話し合いをしながら、活動していきたい。



きのこ菌床
生産等

かねこ いさむ
金子 勇 さん

出身：北海道札幌市
活動拠点：厚岸町きのこ菌床センター

上尾幌に住んでみて、人のつながりや家族のつながりが強いと感じた。上尾幌のシイタケは、自分が今まで食べてきたものとは違い、とてもおいしい。生産だけでなく、他産業とのコラボレーションや、パック詰めをするセンターの設立などにより、新しい雇用の創出や生産者の収入アップ等につなげていきたい。今後は、ふるさと納税の返礼品として登録し、生産者の収入向上も目指したい。



体験観光
メニュー
構築等

かねがえ けんじ
鐘ヶ江 賢治 さん

出身：福岡県久留米市
活動拠点：厚岸味覚ターミナル・コンキリエ

厚岸は、オジロワシやオオワシ、エゾシカなど野生生物を身近に見られ、冬はきれいな朝日と夕日が見られる。厚岸の皆さんは何もないというが、たくさん良いものがあるということ。町内外の人にSNSなどを使って発信していく。今後は、厚岸湖を一望できるお供え山を、スノーシューを履いて巡る体験などを考えている。アサリ掘りをはじめとした体験メニューで、町民の皆さんも厚岸の自然を再認識してほしい。



水産物等の
魅力創出

おかだ たくや
岡田 拓也 さん

出身：滋賀県湖南市
活動拠点：厚岸漁業協同組合直売店

夕日や厚岸湖の美しさに感動したが、ごみが多く落ちていたのは残念。直売店から厚岸の魅力を発信していて、『インスタ映え』スポットやSNSイベントなどを企画している。今後は、厚岸にまた行きたい、行ってみたいと思ってもうたため、おもてなしの強化や常に新しい情報の発信などに取り組んでいく。厚岸町のファンを増やし、最終的に移住者・定住者の増加につなげたい。

厚岸町地域おこし協力隊 活動報告会

2月10日、町主催の『地域おこし協力隊活動報告会』が、本の森厚岸情報館で行われました。町の地域おこし協力隊員の5人が、町の魅力や活動している内容、今後の活動について発表しました。

5人は厚岸町に来てどのような印象を持ち、どのような活動をしていくのでしょうか。報告会で発表した内容を紹介します。

※現在、6人の隊員が活動していますが、コンキリエで活動している長尾卓郎さんは今年1月に着任したばかりのため、報告はしていません。



きのこ菌床
生産等

たしも あきひろ
田下 昭宏 さん

出身：神奈川県海老名市
活動拠点：厚岸町きのこ菌床センター

地域の皆さんが温かく迎えてくれて、人と人との距離感が近いというのを一番感じた。菌床の製造や視察、市価調査などを行い思ったことは、上尾幌の生産者はシイタケを作るのは上手だが、セールスが下手。高く売れる地域で売るのはどうしたら良いか、生産者の皆さんと研究していきたい。今後は、3年後の着業に向けて、前職のスーパー勤務の経験を生かし、経営スタイルを確立させたい。

地域おこし協力隊について

●制度概要：都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した人を、地方公共団体が『地域おこし協力隊員』として委嘱。隊員は一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの『地域協力活動』を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組み

●活動期間：概ね1年以上3年以下

【導入の効果】

